



日本初！ 大阪国際空港で AI を使ったフルオートシステム (完全自動装着) を搭乗橋に導入します

関西エアポート株式会社は、大阪国際（伊丹）空港において、AIを活用して搭乗橋を完全自動装着するフルオートシステムの導入を行うことをお知らせします。

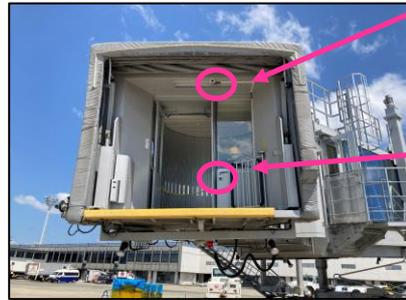
本システムは、AI と画像認識技術により航空機のドアを認識し、搭乗橋の装着完了までをボタン操作一つで完全に自動化するものです。搭乗橋はターミナルビルと航空機をつなぎ、搭乗と降機する際に使用する可動式の通路で、既存の搭乗橋は人が操作するため、装着の精度が個人の技量に左右されます。完全自動化により、お客さまのスムーズな搭乗と降機、およびヒューマンエラーの防止による安全性の向上を実現します。

関西エアポートグループは、引き続きお客さまの利便性やサービス向上をめざし、安全安心で快適な旅の体験を創造してまいります。

- 導入期間：2022年6月27日～2024年6月30日
- 対象：搭乗橋2基（No,13B、No,18A）
- 開発・設置者：新明和工業株式会社



搭乗橋



カメラ位置



- 期待される導入効果
 - ・操作性向上：操作者個人の技量によらない均質な搭乗橋の装着
 - ・効率性向上：装着のやり直しなどが無くなることで、定刻運航の維持、お客さまの機内待ち時間短縮
 - ・安全性向上：AI、画像認識技術を活用したヒューマンエラーの防止
- 既存のプリセット^{※1}走行との比較

	方式	既存のプリセット走行	フルオートシステム
1	到着位置 (最終の位置合わせ)	・航空機1m手前 ・手動での位置合わせが必要	・装着完了状態(航空機のドアを開けられる状態) ・手動操作不要
2	操作性	・オペレーターの手動操作	・オペレーターの1 Push 操作
3	駐機誤差の影響	・誤差に応じて手動で微調整が必要	・カメラによりドアの位置を計測することで影響なし
4	安全確認	・オペレーターによる目視確認	・オペレーターによる目視確認
5	機種選択	・オペレータが選択し入力	・機種選択操作不要

※1：航空機ごとにあらかじめ決められた動きをする機能

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社
グループコーポレートコミュニケーションズ部 パブリックリレーション
Tel：072-455-2201



関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: www.kansai-airports.co.jp/ をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% ¹
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックスグループについて

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では法人金融、産業/ICT機器、環境エネルギー、自動車関連、不動産関連、事業投資・コンサルティング、銀行、生命保険など多角的に事業を展開しています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界約30カ国・地域に拠点を設け、グローバルに活動しています。

今後も、常に新しい価値を創造する強みと専門性を生かし、〈オリックス〉という完成形のない独自のビジネスモデルを基に、企業や人々に活力をもたらす企業活動を通じて社会に貢献してまいります。

詳細は <https://www.orix.co.jp/grp/> をご覧ください。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、欧州、アジア、南北アメリカ大陸の12カ国において53空港を運営しています。総合インテグレーターとしてのノウハウを駆使して空港の開発、資金調達、建設、運営を行うとともに、その投資能力と専門知識を活かした空港運営の最適化、施設改修、環境経営推進に取り組んでいます。

ネットワーク全体で2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするため、2016年から他の空港運営事業者に先駆けて国際的な環境戦略を展開しています。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構